

平成 30 年度 第 2 回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

1 開催日時 平成 30 年 7 月 18 日（水） 午前 10 時～12 時

2 開催場所 郷土博物館 視聴覚室

3 出席者

（委員）菊池眞太郎委員長、大塚三枝子副委員長、吉田敦委員、明保治男委員、
 穎原澄子委員、大村洋子委員、森田信雄委員

（事務局）鈴木教育長、八田生涯学習部長、高梨生涯学習部次長、五十嵐館長、
 島村、尾上（記録）

（傍聴人）なし

4 議 事

委嘱状の交付

教育委員会あいさつ

（1）正・副委員長の選出について

（2）正・副委員長のあいさつ

（3）旧醍醐家茶室部材調査報告と現状について

（4）「もっと知りたいふるさと浦安展」（準備中）の視察及び意見聴取・「ふるさと浦
 安作品展」の開催について

5 会議経過

会議に先立ち、委嘱状の交付を行った。交付後、鈴木教育長があいさつを行っ
 た。

引き続き正・副委員長の選出を行い、委員長に菊池眞太郎氏、副委員長に大塚
 三枝子氏が選出された。

菊池委員長、大塚副委員長の挨拶後、各委員の自己紹介、事務局紹介を行った。

（3）旧醍醐家茶室部材調査報告と現状について

配布資料に基づき、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

（委員） 醍醐家の茶室を使ったことがあるが、京間と関東間と寸法が違うのか。

（委員） 江戸間は少し小さくなる。京間は決まった大きさだが、江戸間になると、
 四畳半場合と六畳の場合で、少し畳の大きさが異なる。簡単に言うと京間
 の方が若干大きい。

（委員） 武家屋敷の離れをいただき、当初は隠居場として使っていたと聞してい
 る。

（委員） 使い勝手としてどのようなことを考えているか。

（事務局） 文化財として、まずはきちんとした移築復元を考えている。具体的な活
 用については、今後検討していく。

（委員） 調査後、復元計画の中で、新たな部材を使う場合、割合によっては文化
 財指定の再検討もあるのか。

（事務局） 今までの復元計画同様、使えるものは使っていく方針である。文化財指

定の基準については、県や他市にも確認したい。

- (委員長) 基準等については、県なり国などに調査して、ご教示いただきたい。
- (委員) 部材もあるが、文化財としては、その由緒もあるので一概には言えないだろう。
- (委員) 京間に変えるとすると、梁など全てを変えなくてはならず、建て替えになってしまう。活用するにもバランスが大事。活用方法を十分検討して復元に当たっていただきたい。
- (委員) 立体駐車場の脇と聞いていたが、そのほかの場所となると候補地はあるのか。
- (事務局) 現在、市では、移築場所は地区公園の中でなく、旧大塚家、旧宇田川家の周辺エリアに移築した方がよいのでは、との話で検討している。
- (委員長) 活用については、いざ動き始めたとき、すぐに提言できるように、検討は進めていっていただきたい。

(4) 「もっと知りたいふるさと浦安展」(準備中)の視察及び意見聴取・「ふるさと浦安作品展」の開催について

配布資料に基づき、事務局より説明した。
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員) 千葉大学の建築学科の2年生が毎年、旧大塚家での実測調査と軸組模型作成の課題を行っている。3~4年前に大塚家内で簡単な展示をさせていただいた。今回、廊下で優秀作品を展示させていただけたら、と思っている。学生たちにも小中学生の作品を見てもらい、刺激を受けてくれたら、と考えている。
- (事務局) 廊下や出入り口付近でお願いできたら、と思う。詳細については、事務局と委員の方で調整していきたい。
- (委員) 年々質がよくなっているのも、先生方も大変だが、ぜひがんばってもらいたい。

その他

■ 刊行物の新聞記事紹介など

- (事務局) シラウオ漁の刊行物について、毎日新聞千葉版6月25日(月)ついで紹介された。まだ宣伝をしていないので、今後、PRに努めたい。マスコミ報道前だが、昨年予算化した「博物館収蔵品システム」も稼働した。現時点でもネットで閲覧できるので、ご意見をいただきたい。ある程度整った段階で、広報等で周知したい。

この後、7月21日(土)から始まる展示会を視察した。

■ 次回の会議

第3回浦安市文化財審議会は、11月14日(水)を予定。

以上をもって、平成30年度第2回浦安市文化財審議会は、閉会した。